

平成30年度 教育センター事業の紹介



教育センター職員

所 長 小 川 晋
(教育長)
所長代理 上 島 俊 晴
(飯野小学校長)
指導主事 森 岡 美也子
教育専門指導員 永 原 義 久
// 能 登 典 子
教育指導員 泉 邦 子
// 道 又 三代美
助 手 五十里 悦 子

のぞみ【適応指導教室】

《開設時間》
月曜日～金曜日
午前9時～12時
《主な活動》
生活指導、カウンセリング
創作活動、教科指導、体験活動
☆ 児童生徒の主体性を尊重しながら、学習や様々な体験活動を行うことにより、自発性や社会性、学習への興味・関心・意欲を育み、自立(学校復帰)への援助を行います。
入所や見学を希望する場合は、事前に電話等でご相談ください。

教 育 相 談

来所、電話等で相談
をお受けします。
*月曜日～金曜日
*午前9時～午後5時
教育センター
TEL 72-0009
※ 夜間、休日等時間
外は以下へ
町P連留守番電話
TEL 72-2331
教育センター
FAX 74-2792



【 夏季休業中の研修会のご案内 】

ご参加をお待ちしております。

会 合 名	日 時	会 場	内 容
★生徒指導に関する講演会	7月26日(木)13:40～	うるおい館	「スマホ時代の子どものために」 講師：兵庫県立大学 准教授 竹内 和雄 先生
☆理科実験・観察訪問研修	7月30日(月)9:30～	ひばり野小学校	てこのはたらき【6年】
★外国語活動に関する講演会	8月1日(水)14:00～	うるおい館	「新学習指導要領に応じたこれからの英語指導について」 講師：東京学芸大学 教授 粕谷 恭子 先生
☆理科実験・観察訪問研修	8月2日(木)9:30～	入善小学校	物の温まり方【4年】
	8月2日(木)13:30～	飯野小学校	水溶液と金属の反応【6年】
	8月3日(金)9:30～	黒東小学校	水溶液の性質調べ【6年】
	8月3日(金)13:00～	上青小学校	電気の利用【6年】
	8月6日(月)9:00～	桃李小学校	葉脈標本作り【中高学年】
カウ ン セ リ ン グ 講 座	8月7日(火)13:30～	うるおい館	「学校で苦戦する子どもたちへの支援 ーカウンセリング心理学の視点からー」 講師：富山大学大学院 准教授 石津 憲一郎 先生
心 の 教 育 研 修 講 座 ①	8月9日(木)13:30～	うるおい館	不登校児童の困難の理解と対応 講師：県総合教育センター教育相談部 主任研究主事 本村 雅宏 先生
ICT 活 用 に 関 す る 研 修	8月24日(金)13:45～	上青小学校	初歩からのプログラミング教育について 講師：県総合教育センター科学情報部 研究主事 盛本 茂 先生
★道 徳 に 関 す る 講 演 会	8月27日(月)13:40～	うるおい館	「特別の教科 道徳」の学習指導及び評価の在り方 講師：京都産業大学 教授 柴原 弘志 先生
外 国 語 活 動 研 修 会	8月28日(火)9:30～	うるおい館	「新学習指導要領に応じた外国語指導の在り方」 講師：東部教育事務所 指導主事 田村 千佳子 先生 指導主事 團 千加子 先生

★印：魚津地区教育センターとの協業事業

☆印：県総合教育センターとの協業事業

編 集 後 記

最近の新聞やニュースで連日のように「児童虐待」「いじめ」などの報道がなされており、その痛ましさに悲痛な思いをする方も多いと思います。その事件に至る原因や背景、解決方法は各事象によって様々ですが、これらの問題に対する教職員の意識啓発と対応スキルの向上は必須であり、今後も研修会等を企画して参りますので、よろしくお願いたします。

発行：入善町教育センター
〒939-0626
富山県下新川郡入善町入膳5232-5
うるおい館3階
TEL 0765-72-0009 FAX 0765-74-2792
Eメール nyuzen-ec@tym.ed.jp



「夢を追い続けるために」

入善町教育委員会

教育長 小川 晋

私は入善町の児童生徒に、「ふるさと入善のよさを理解し、生涯にわたって夢を追い続けてほしい」と考えています。

少子高齢化が急速に進み、地域社会の一員として、ふるさとへの愛着や誇りを育み、町づくりに関わる人材を育成することが求められています。ずっとこの町で暮らしたい、または、いつかはふるさとに戻って過ごしたい、という気持ちを育てていくためには、ふるさと入善のよさ、地域のよさを十分に理解する必要があります。そうした理解が、町の最大課題である「ストップ人口減」にもつながるものと考えます。そのためにも、ふるさとに誇りをもちふるさとを語ることができる人間になってほしいと思うのです。今年、5月9日の「県民ふるさとの日」に先立ち、5月6日に行われた記念式典で、ひばり野小学校が「ふるさと大賞」を受賞しました。この大賞は、「舟見七夕まつり」における七夕飾りの作成や鼓笛隊パレードの参加、本陣太鼓や今江太鼓の体験学習などを通して、地域のよさとその伝統を受け継いでいる人々の気持ちや生き方に触れたすばらしい活動として授与されました。町内の各小中学校にも、このような地域に根付いた活動があるのではないのでしょうか。今後とも、ふるさとのよさを理解する学習を推進していきたいものです。

一方、「夢を追い続ける」ためには、まず、夢をもたなければなりません。つまり、自分のやりたいことを見い出すことが大事です。「開運！なんでも鑑定団」でお馴染みの北原照久さんが講演会で、「自分は何になりたいのかは、勉強しなければ見えてこないんです。自分が生き生きと生きるために、勉強しなければだめだということを、子供たちに教えてあげなければいけない」と言っておられます。知識や技能が無いところには、何も見えてこないと理解しました。私たちは、夢をもつためにも勉強（スポーツにおいては練習）をしなければならないということを、児童生徒に教えていく必要があると思います。

そのために、学校教育では、しっかりとした授業規律の下、基礎的・基本的な学習の徹底を図り、家庭と協力しながら基本的な生活習慣の定着に取り組むことが大事です。できている部分にはタイミングよく褒めてやり、自信をもたせることも肝要です。勉強や練習を継続していくことによって、目標が明らかになり、将来に渡ってやってみたい大切なものが見えてくると考えます。先生方には、児童生徒が、真面目に、素直に、粘り強く日々の学習を積み重ねていけるよう指導をお願いします。